

第 1 回流山市補助金等審議会会議録

- 1 開催日時 平成 29 年 6 月 2 日（金）午後 1 時 30 分から
- 2 場 所 流山市役所第 1 庁舎 3 階庁議室
- 3 出席委員 田中委員、山本委員、西村委員、川上委員、神田委員、中村委員
- 4 欠席委員 山口委員
- 5 事務局 安井財政部長、秋元財政部次長兼財政調整課長、福吉課長補佐、星野主事、加藤臨時職員
- 6 傍聴者 なし
- 7 議 題
 - (1) 委嘱状交付
 - (2) 市長講話
 - (3) その他
- 8 配付資料
 - (1) 委員名簿
 - (2) 市長講話資料

（平成 29 年流山市議会第 1 回定例会 施政方針）

開 議 1 3 時 2 8 分

（事務局）

本日は、お忙しい中をご出席いただきましてありがとうございます。
ただいまから、第 1 回流山市補助金等審議会を開催いたします。
事務局から本日の予定について、簡単にご説明いたします。
はじめに、市長から委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。
その後、市長から流山市の重点施策について、ご説明をいたします。
最後に、会長、副会長の選出を行う予定でございましたが、本日、欠席の方がおりますことから、会長・副会長の選出については、次回に延期させていただきますので、ご了解願います。

それから、次回以降の審議会日程について決めていただきたいと思います。

それでは、委嘱状の交付を行います。

市長が皆様の席を回り、順次、委嘱申し上げますので、大変恐縮ですが、順番が参りましたらご起立をお願いいたします。

《市長から各委員に委嘱状を交付》

(事務局)

次に、市長から流山市の重点施策などについて、ご説明いたします。
市長よろしく願いいたします。

(市長)

本日は、お忙しいところ補助金等審議会に委員としてご出席頂きありがとうございます。

この審議会は、私が市長になりました翌年に、今までの既得権益を見直していく（リセット）するために設置をしました。

歴代の委員の皆様には行財政改革の推進役としてお力を頂き、当初は0ベースから見直すということで大変な作業を行いました。

また、多くの補助金の内容について深く切り込んでいただき、しっかり議論をしていただきました。職員についても、委員の皆様に分かりやすい説明をできるようになるまでは時間もかかりましたが、現在は定着もしまして市職員の意識も変わりましたし、補助金交付団体の意識も変わりつつあると思います。

このような成果を出した審議会において、これから委員の立場で忌憚のないご意見を頂きながら、利害関係は切りながら、必要な団体や次代をリードしていく団体、次代が要請する団体については意志を継いでいかなければならないと思います。

それでは今回、お手元に「平成29年流山市議会第1回定例会 施政方針」をお配りしておりますが、これについては詳しくは時間のある時に見ていただき、今日は少しコンパクトに方針と課題を申し上げます。

本市の人口のもっとも多い世代というのは、この10年間のマーケティング課や経営戦略の取り組みによって、30代40代の方が最大のボリューム人口になっています。しかし、その次に70代前半の方が多く世代になっております。

以前は若い方達が少なく、団塊の世代だけが多い人口構成だったので、これまでの10年間の取り組みがないと財政支出だけが増え経営が非常に難しくなる。あるいは財政がひっ迫することによって現在提供されているサービスの維持も難しくなるような財政状況、人口構成でした。

流山市の努力によって30代40代の方が増え、人口バランスも若返ってよくなりましたし、若い納税者が増えたことによって財政的にはかなり健全な方向に動いています。

千葉県の中でも流山市は健全な方にあります。しかし、誤解のないようにしてほしいのは、健全ではあるが余裕があるわけではないということです。

財政が豊かな市に比べ、流山市はお金で解決できない部分は様々な努力をし、知恵を出し工夫をすることによって、豊かではないけれど健全な財政を保っています。

よって、市民の知恵と力を引き出しながら市民の自己実現ができるような街を目指してということを念頭に置いて、皆様方にはお力を頂きたいと思います。

それから課題としては、70代の方が平均寿命を超えるまで10年以上ありますが、徐々に福祉施設に入る方、あるいは介護を必要とする方が実数・比率ともに高まっています。

こう言った状況と、子供が急増しているため保育園や学童クラブ、小学校そして今後の課題ですが中学校の整備をしていかなければならないという状況にあります。

因みに、10年間の人口増加率については、子育て世代の30代、40代が6割増え、就学前のお子さんが5割増えています。

そして、75歳以上の方が2倍に増えています。少子高齢化が無くなりつつあるといえますが、高齢者と子育て世代、子供たちの3つの世代の山がある街になっています。しかし、高齢者と子供は行政の対応を手厚くしていかなければならないので流山市の財政としては負担が増えていきますが、30代、40代が一番増えており、納税して頂いているので他の自治体に比べると順調に健全な方向に動いているといえます。

私としては、補助金についてはあまり手厚くしない方向で考えています。

特に、市民活動に関しては基本的に主体的に動いていただいて、どうしても必要な部分については補助しますが、今までのように既得権益にならないように、3か年の補助期限を設けたり、毎年見直しをしていくことで20年30年と同じような状況が続かないようにしていくことが重要と思います。

それから、出来るだけ補助金頼りの団体を作らないということ。中には、補助金交付団体ではないタイプのもので、自分たちの課題を解決するために、NPOや株式会社などを立ち上げて利益を追求していく団体を若い方々が随分作られています。

こういう時代に、本当に必要な補助金交付団体は何かということが、市職員の説明が十分でないために審議会から厳しく見直しを求められたことが近年でもありましたし、職員の説明が妥当であったために、非常に複雑で分かりにくい状況をしっかりと説明し評価され認められたものもあります。

補助内容を説明する市職員（担当者）の力量がかなり求められ、きちんと説明することによって皆様のご理解が頂けること。説明の仕方などを厳しくご指導いただけることが、市の職員にとっても厳しくもよい勉強の機会にもなっています。

皆様には、遠慮せず厳しくご指導いただき、皆様が十分納得のいくご議論をしていただき、市の職員そして補助金団体を育てて頂きたいと思います。

以上ですが、補助金の審議をされるということになりますと色々なことをご理解いただかないといけないので、今日、もし補助金の各論ではなく、市政に対して不安に思っていることや疑問がありましたら、ご質問いただければと思いますがいかがですか。

（事務局）

補助金以外のことでも結構です。せつかくの機会ですので、ご質問等ございましたら、お受けいたします。いかがですか。

（市長）

先程、人口増加ということを申し上げましたが補助金審議会にとって直接関わりはありませんが、交流人口というのも大変増えてきております。商業に関しては、おおたかの森ショッピングセンターが最大の効果を発揮していただいておりますが、それ以外でも流山本町では古い建物を再生して万華鏡ギャラリーやカフェなどが出来てきて、関東一円からお客様が来ておりますし、利根運河も以前よりも来てくださる方が増えています。

それから、もう一つ流山市にあるものをうまく使ってツーリズムを支援しているものは、オープンガーデンで5月の中旬に流山市内で約40戸の家庭が連携してお庭を一斉公開することで横浜、新宿、水戸等から観光バスが出ており、オープンガーデンを見て頂き、お昼は市内の飲食店で食べて頂くものもあります。

北海道から九州まで全国から流山のオープンガーデンにお越し頂いておりますが、一生懸命お庭を作っている方が最大の功労者ですが、あるものをうまくつないでいくことによって単なる住宅都市から全

国的なツーリズムの目的地とすることで、こういった努力が、市・収入へと着々と向かっていることをご報告します。

(事務局)

よろしいでしょうか、せっかくの機会ですので。

(田中委員)

流山市はテレビ等メディアで、「子育て世代」の人口が増加していると放送されているのを拝見し素晴らしいなと前からずっと感じております。

(市長)

子育てについては、6・7年前までは流山の知名度アップと流山市の魅力と子育て、例えば送迎保育ステーションなどを紹介する形でマスコミにこちらからアプローチしておりましたが、現在では私たちが知らないところで取材が起こり、連絡がないままニュースで取り上げられ、それをご覧になった市民から職員が連絡を受けるようなこともあります。

保育園の制度とか駅前の送迎保育ステーションなど、とても便利で整備等、力を入れているということを放送されると、自動的に間違いなくその保育園などに入れると勘違いされて、大量の方が転入をされたということもあります。よって、マスコミにはあまり出さないようにして、市外の方へのお知らせは程々にして市民の中から待機児童が出ないようにしております。

(事務局)

他に質疑ございますか。

ないようですので、市長はこの後所要がありますので、ここで退席させていただきます。

《市長退席》

(事務局)

次に、あらためまして、委員の皆様を財政部長からご紹介させていただきます。

(財政部長)

財政部長の安井でございます。

それでは、委員の皆様のご紹介をいたします。

はじめに、学識経験を有する方々をご紹介いたします。

東洋学園大学教授の田中 菊子（たなか きくこ）様です。

江戸川大学准教授の山本 隆一郎（やまもと りゅういちろう）様

です。

次に、行政経験を有する方々を紹介いたします。

西村 象六（にしむら ぞうろく）様です。

山口 今朝勝（やまぐち けさかつ）様は、本日、所要のため、欠席でございます。

次に、市民を代表する方々を紹介いたします。

川上 順利（かわかみ よりとし）様

神田 玲子（かんだ れいこ）様

中村 秋子（なかむら あきこ）様

（事務局）

次に、補助金等審議会を担当する事務局の職員を自己紹介により紹介いたします。

【秋元財政調整課長から順次自己紹介】

（事務局）

本来でしたら、ここで会長、副会長の選出を行う予定でおりましたが、次回に延期といたします。

それでは、本日の審議会は、これで終了となりますが、次回以降の審議会の日程について、この場でご相談させていただきたいと思いますが、事務局としては今月中下旬までに第2回の審議会を開催したいと考えています。

また、今後の日程を含めて、大学の先生方には、授業がありますので、先生方の御都合を優先した日程を調整したいと思います。

先日、大学に確認したところ火曜日か金曜日が都合がよいとのことでしたがいかがでしょうか。

《各委員の日程協議》

（事務局）

それでは、とりあえず次回の第2回審議会の会議開催日は、6月14日（水）時間は、午後1時30分からではいかがでしょうか。

《各委員の日程協議》

（事務局）

それでは、次回の第2回審議会の会議開催日は、6月14日（水）時間は、午後1時から、場所は市役所3階庁議室で行いたいと思います。第3回目以降については、皆様の予定を整理して日程表を次回に配れば用意したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(事務局)

本日配付しました資料の中に「個人票」があります。名前と連絡先を記入して事務局まで提出をお願いいたします。

今後の審議会の事務連絡等については、原則は電子メールで、ご連絡させていただきます。

また、今回初めて委員になられた方には、先日、送付させていただいた「臨時職員・非常勤職員等登録申請書」をお帰りの際にあわせて事務局に提出をお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、第1回補助金等審議会を終了させていただきます。

本日は、ありがとうございました。

閉 議 1 4 時 1 0 分

流山市補助金等審議会